

The Expert



平成29年7月10日発行 ● No.93 ●

● 小児医療センター(小児循環器科) 松裏 裕行 教授(昭和57年・防衛医大卒)

ご挨拶

医局員一同、日頃より医師会諸先生をはじめ二次・三次医療機関や大田区行政関係者の皆様には大変お世話になっております。この紙面をお借りして、まず御礼を申し上げます。

さて小生は小児循環器病学と小児救急医学を専門分野としており、小児循環器領域では特に先天性心疾患、川崎病、急性心筋炎・心筋症などの診断と治療を中心として臨床的研究を行って参りました。中でも先天性心疾患の術前・術後におけるカテーテル治療には最も興味を持ち、動脈管開存に対するコイル塞栓術や心房中隔二次孔欠損の経皮的閉鎖術などの導入に力を注いで参りました。小生自身が実施したカテーテルインターベンションの中で特に記憶に残るのは、体重1,100g(誤植ではありません)の大動脈弁狭窄症に対するバルーン拡大術と純型肺動脈閉鎖の経皮的肺動脈弁穿孔術(図1・2)です。幸い二人とも治療が奏功し、後遺症なく元気に通学しています。

急性期川崎病ではガンマグロブリン大量療法やInfliximab静注、ステロイド投与などにより冠動脈瘤防止に努めて参りました。急性期から当院で治療した川崎病は優に2000例を越えますが、遠隔期を含め死亡例ゼロの記録を続けております。

急性心筋炎については、日本小児循環器学会としての全国調査を故 佐地勉先生の主導で実施し、報告して参りました。この全国調査は、成人を含め急性心筋炎としては日本で唯一のもので、貴重な情報と自負しております。臨床面では、都内の大学付属病院や国立成育医療センター、都立総合小児医療センターなどと連携して小児急性心筋炎の治療ネットワークを構成し、救命に努力しています。

小児救急医療については、大田区平日夜間子ども救急室に代表される病病連携・病診連携を推進して地域の小児医療への貢献を目指してまいりました。今後は障がい児・者への対応を中心とした地域包括ケアと災害医療への取組も積極的に行いたいと考えています。

最後に、当教室前主任教授 佐地勉先生が本年5月22日にご逝去されました。長年に亘り直接指導を受けてきた私達医局員の衝撃は計り知れないものがありますが、皆で力を合わせて地域の小児医療の発展に一層努力して参りますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

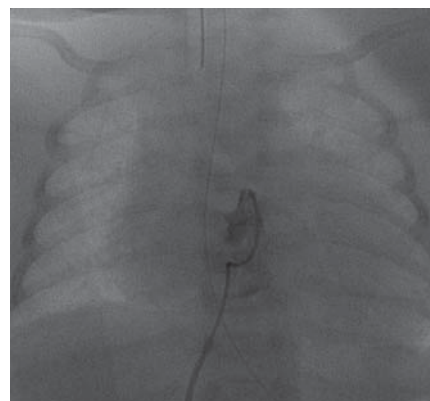


図1

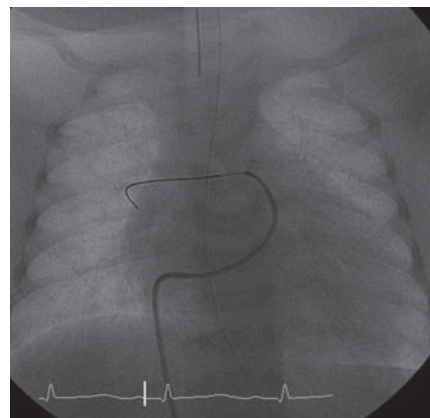


図2

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

松裏 裕行 教授
小児科：月曜日午前
循環器小児科：火曜日午前(第1・2・4・5週)
木曜日午前
土曜日(第1週)

医療機関専用電話

パートナー

03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター